



舟形町焼き鮎

# 最上エコポリス通信

— mogami ecopolis tsushin —

2021年8月号

山形県最上総合支庁 隔月発行

最新情報はツイッターでご覧ください



## 最上地域における施策展開や課題を調査・審議

7月12日、最上総合支庁において、令和3年度第1回最上地域議員協議会が開催され、最上地域選出県議会議員の出席のもと、最上地域における施策展開や課題について調査・審議が行われました。

審議に先立ち、加藤最上総合支庁長から、新型コロナウイルス感染症、令和2年7月豪雨災害の復旧状況、農作物の生育概況と5月の降雹被害、若者の地域定着・人材確保、県立新庄病院建設の進捗状況及び保健・医療・介護・福祉の連携に向けた取組み、東北農林専門職大学（仮称）の開学に向けた取組み状況、やまがた森林ノミクスの推進、高速道路網整備・道の駅の整備に向けた取組みについて説明が行われました。

その後、各委員から質疑がなされ、各分野にわたって活発な意見交換が行われました。

### 【質疑の主な内容】

- ◇県立新庄病院に設置される「総合患者サポートセンター（仮称）」について
- ◇道の駅の検討状況について

[総務課 29-1210]



## オンライン \*MOCO マルシェ

7月2日、子育て支援センターmoco'sを配信元として、「オンラインmocoマルシェ」を開催しました。

今年はコロナ禍ということもあり初のZoomでの開催でしたが、保育園の園児を始め約500名の方々にご参加いただきました。藤川明日香さんの素敵な歌と保育士さん達による楽しい手遊びに合わせて一緒に踊る子もいて、見ている側も嬉しくなりました。オンラインを通して一緒に繋がれたのでは。

笑顔あふれるイベントとなりました！

今回は、10月に親子向けスポーツイベントを開催予定です。お楽しみに！

[子ども家庭支援課 29-1245]

## 最上地域みんなで子育て応援団



## 最上の「移住」あれこれ、語り合いました！

7月26日、新庄市万場町の「のくらし」において、「移住者交流会」を開催しました。最上地域に移住した方が集まり、それぞれの移住に関する体験談や思いなどを語り合いました。

この取組みは、移住に関する様々な不安を解消するとともに、移住者のネットワークを構築し移住後のフォローアップにつなげるため、本年度初めて開催したものです。当日は活発な意見交換となり、「最上地域は自然豊かなのに、その良さを活かしてきれていない！」「住まいへの支援や、子どもたちの移住手段がほしい！」などの声をいただきました。

新型コロナウイルスの影響で、首都圏を中心に地方移住への関心が高まっています。今後も、移住の拡大や移住者のフォローに向け、引き続き市町村と連携した取組みを進めてまいります。

[連携支援室 29-1238]



## 進路を考える学習会～めざせ医療・介護のしごと～開催！ @日新中学校！！

最上地域の医療・介護分野の人材確保を図るため、管内の小学校高学年や中学生を対象に、将来の職業として医療・介護の仕事に関心を持っていただけるよう「進路を考える学習会～めざせ医療・介護のしごと～」を開催しています。

今年度は第1回目として、7月20日に日新中学校3年生を対象に、看護師、薬剤師、作業療法士を講師にお迎えして開催しました。講師からは、仕事の内容とともにこの仕事を選んだ理由や魅力などについて講演していただいた後、各ブースに分かれて体験学習を行いました。生徒たちは、聴診器等の使用体験や、お薬処方の作業体験、片麻痺の場合の着替え体験など、興味深く取り組み、医療・介護への関心が深まったようです。  
[保健企画課 29-1257]



## 地元のヒト・コト・モノを学ぶ 新庄・最上ジモト大学開講中！

今年度の新庄・最上ジモト大学が開講しました。5年目を迎える今年度は、地域の歴史や食などの魅力を発信するものや自身のキャリアについて考えるものなど、全36のプログラムを順次実施してまいります。また、今年度新たに設立した尾花沢キャンパスの開講式が、7月10日のプログラム開始に合わせて開催されました。

ジモト大学は、地域の大人が講師となり、地域の魅力を伝えるとともに、体験を通して地域の現状や課題について一緒に学んでいくプログラムとなっております。

地域のことを知る第一歩として、ジモト大学に参加してみませんか。多くの高校生の参加をお待ちしています。

[連携支援室 29-1239]



## 地元で働く魅力を知ろう！～若手従業員のリアルなお話～ ◎新庄南高校金山校◎新庄北高校

地元の様々な職場で働く先輩から、仕事のやりがいや新庄・最上での暮らしなどをお聞きする特別授業を、7月20日に新庄南高校金山校、28日に新庄北高校で開催しました。先輩の高校時代の話や今の仕事に就いたきっかけなど、お手製の“紙芝居”を使った楽しく・わかりやすいお話に対し、生徒の皆さんは真剣に耳を傾けていました。

新庄南高校金山校では、山形航空電子(株) 笹俣也さん、(株)新庄エレメックス 大場誠広さん、ニューグランドホテル 菅原理子さんの3名、新庄北高校では、(株)ヤマトテック 川瀬拓さん、(株)森環境技術研究所 森勇人さん、(株)最上クリーンセンター 沓澤伸明さん、新庄商工会議所 中嶋唯さん、新庄信用金庫 青木幸次郎さん、新庄公共職業安定所 佐藤和佳さん、金山町役場 樋渡朱音さん、小松行政書士事務所 小松由美さんの8名からご協力をいただきました。

生徒からは、「高校生のうちにやっておくべきことは」、「くじけそうな時どう乗り越えていますか」といった質問が次々に出されました。自分の進路や将来を深く考える機会になるとともに、地元企業への理解も深まったようです。

[地域産業経済課 29-1309]



## 内閣府「令和3年度女性のチャレンジ賞（支援賞）」受賞者の皆様が訪問されました

「地域づくり応援団キラッと0～RA☆DA(オーラダ)」(大蔵村)が、内閣府特命担当大臣(男女共同参画担当)が表彰する「女性のチャレンジ賞(支援賞)」を受賞しました。8月3日(火)に知事より表彰状の伝達が行われるのに先立ち、受賞者の皆様が支庁長を表敬訪問されました。

[子ども家庭支援課 29-1221]



## 絶品の県産品がグランプリ獲得！

今年3月、地方にある“いいもの”を発掘する「にっぽんの宝物 JAPAN グランプリ」で、福原鮮魚店（新庄市）製造の、県産食材をふんだんに使用した“パエリア／アクアパッツァ”が見事にグランプリを獲得しました。

加藤支庁長との懇談では、受賞品を試食しながら、グランプリ獲得までの苦労や新たに開発したオール県産食材で作ったパエリアの話などを伺いました。



アクアパッツァ パエリア

皆さんもぜひご賞味ください。



[農業振興課 29-1316]

## ウィズコロナ時代の企業の情報発信を考える 「採用力向上セミナー」

6月22日、「採用力向上セミナー」を開催し、オンライン参加も含め、地元企業の人事担当者など約20名にご参加いただきました。

山形大学学術研究院の松坂暢浩准教授から、新型コロナウイルス感染症の影響下における学生の就職動向等について講義いただいた後、企業PR動画の作成やオンライン面接などに積極的に取り組んでいる県内企業2社から、事例発表いただきました。

参加者からは、「大学生の就業意識の変化やコロナ禍の採用の現状がわかり良かった。」「会社の魅力の情報発信の仕方について、大変参考になった。」との感想が聞かれました。

今後も、最上地域の企業の魅力発信を支援してまいります。 [地域産業経済課 29-1309]

## 最上の自然を満喫！！

6月5日に、甑山（真室川町）の山開き・番楽奉納祭、女甑の大カツラ（林野庁の「森の巨木たち百選」）を通る記念トレッキングに加藤支庁長が参加いたしました。また、7月3日には、松尾芭蕉の「おくのほそ道」で知られる山刀伐峠（最上町）の東北DC特別企画トレッキングが開催され、9月にも実施される予定です。是非、最上の巨木や自然に親しんでみませんか。

▶甑山  
記念トレッキング  
(女甑の大カツラ)



[観光振興室 29-1312]

## ～若手アスパラガス研究会発足～

近年、アスパラガス栽培が最上全域に広がり、若手の生産者が増えていることから、6月3日、若手生産者30名で若手アスパラガス研究会を設立しました。参加者からは、市町村を越えた交流促進への期待の声がありました。

県では、現地研修会の開催や実証圃の設置等を通して、会員どうしの切磋琢磨により栽培技術の向上を図ってまいります。



[農業技術普及課 29-1331]

## 大雨に備え重要水防箇所の合同巡視

7月14日と19日に、国、県の河川管理担当者と消防・警察や市町村、消防団などの関係機関による重要水防箇所の合同巡視が行われました。重要水防箇所とは、洪水時に危険が予想され重点的に巡視点検が必要な箇所のことで、洪水時に水防団の方々が土のうを積むなどの水防活動を行います。

これからの台風等の出水期に備え、地域一丸となって防災・減災対策に取り組んでまいります。



[河川砂防課 29-1407]

## 職員による“おもてなしの緑地づくり”

7月7日に新庄市松本地内の県道脇緑地帯において、建設部職員有志による草刈り作業とゴミ拾いを行いました。

最上地域の高速交通網の玄関口であるこの緑地帯をきれいにし、道路利用者をお迎えしようと、毎年この時期に実施しています。

これからも地域の美化に貢献できるよう努めてまいります。



[建設総務課 29-1391]

日本人の2人に1人は「がん」になる時代 ～あなたとあなたの大切な人のために～

★若いあなたの命を守りたい!★  
健康教室とお試し検診・検査

20代、30代の方のための検診です

大腸がん検診+下記の検診・検査が無料で受診可能です。この機会にぜひお試しください。

※予約数に限りがあります。予約と検査の詳細は最上検診センターへご確認ください→



「がん検診」受診していますか?

5つのがん(肺、乳、胃、大腸、子宮頸)は、検診で早期発見ができ、早期治療で命を守ることにつながります。対象年齢になったら定期的に受診しましょう。精密検査もお忘れなく! ※がん検診は費用の助成がある場合がありますのでお住まいの市町村にお問い合わせください。

大腸がん検診 ※必須  
便に血が混ざっていないかを調べます。



肺がん検診  
胸のレントゲン撮影でがんの有無を調べます。



胃リスク検査

血液で2種類検査します。  
●ヘリコバクターピロリ菌  
●ペプシノゲン検査

乳房超音波検査

※女性のみ  
超音波装置で、乳がんなどの有無を調べます。

[地域保健福祉課 29-1267]

最上地域の婚活支援拠点♡オープン♡

最上地域を活動エリアとし常設となる「やまがたハッピーサポートセンター最上支所」(県委託事業)が、新庄駅前に誕生しました。結婚を希望する独身者を応援するため、マッチングシステムを活用してのカップリングをはじめ、結婚に関する総合相談をお受けしております。

「やまがた縁結びたい」(ボランティアの仲人)による結婚相談もお受けしております。お気軽にご相談ください。

開所: 毎週木、金、土曜日の  
10:00~19:00

場所: 新庄駅前(新庄市若葉町 1-39)  
[子ども家庭支援課 29-1221]



最上传承野菜・うまいものフェア開催!

夏に旬を迎える最上传承野菜(畑なす・勘次郎胡瓜など)や最上地域の農畜産物をふんだんに使った料理や加工品を味わってみませんか?

参加店舗をご利用いただくと、お菓子や商品券など素敵な景品が抽選で当たるスタンプラリーを開催! この機会に、最上地域のうまいものを是非ご堪能ください。

実施期間: 8月1日(日)~8月31日(火)



※「畑なす」のポスターやパンフレットが目印!

[農業振興課 29-1316]

1に運動 2に食事

しっかり禁煙 最後にクスリ

~健康寿命の延伸へ~

9月は「健康増進普及月間」です。健やかな毎日のためには減塩やバランスのとれた食事、運動習慣、禁煙などの取組みが重要です。年齢を重ねても健康で自立した生活を送るために普段の生活習慣を見直してみませんか。



[地域保健福祉課 29-1267]

大好評 第2弾

「おいしい! 適塩ランチ」

日時: 8月19日(木) 11:30~

場所: 最上総合支庁食堂千起

今回は、家庭でも手軽に使える食材、夏野菜を取り入れたメニューです。また、当日は、しょうゆ1さじの塩分など、調味料に含まれる食塩のサンプルを展示します。ぜひ、ご来店ください。



※第1弾の写真

[地域保健福祉課 29-1267]

東北のへそまつり in 秋保

「東北のへそ」地域(山形県最上地域、宮城県大崎地域、秋田県雄勝地域)の食・特産品を販売・PRするイベントを9月18日(土)、19日(日)に仙台市秋保ヴィレッジで開催します!

三県のキャラクターとお待ちしています!



[観光振興室 29-1312]

## 山形県新型コロナ対策認証制度

山形県では飲食店や飲食部門をもつ宿泊施設が取り組む感染対策を認証する制度を創設し、実際に各施設の取組状況を確認し、県が作成した認証基準を満たした店舗に認証ステッカーを交付しています。認証基準には、利用客への入店時の体調の確認や、利用客同士の間隔の確保、換気や店内清掃・消毒の徹底などが盛り込まれていますので、認証店をご利用される方は、安心・安全な環境のもとお過ごしいただけるものと思われま

す。7月27日現在の管内の認証等の状況ですが、申請件数198件に対し、認証は96件となっています。

想定される事業者総数は494件とされており、300件弱の事業者さんからまだ申請をいただいておりますが、県担当者が認証を受けられるまで一緒に考えサポートし、事前相談にもお応えしますので、ぜひお気軽にお問い合わせください。

[新型コロナ対策認証担当 29-1209、1311]



認証ステッカー

## 山形県新型コロナ対策認証の施設確認後、新たな設備が必要になったらご活用ください！

山形県新型コロナ対策認証の取得のため施設確認を受け、県から助言を受けた事項を改善するために新たに導入した設備の購入経費については、以下の補助金を活用できます。なお、補助金を申請できるのは、認証取得後になります。

### ＜山形県新・生活様式対応支援補助金（新型コロナ対策認証対応型）＞

#### ■ 補助対象者

飲食店(持ち帰り・配達飲食サービス業は対象外)または宿泊業を営む中小企業・小規模事業者

#### ■ 補助額

飲食店：10万円以内（従業員5名以下）、20万円以内（従業員6名以上）

宿泊業：20万円以内（従業員20名以下）、40万円以内（従業員21名以上）

#### ■ 補助対象経費

○パーテーション・アクリル板

○消毒液ボトル設置台（足踏み式など）

○二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）濃度測定器

○非接触型体温計

○加湿器

○HEPAフィルター付き空気清浄機（紫外線殺菌装置も可）

○非接触型水栓（センサー式、レバー式、足踏み式も可）

○換気機能付きエアコン

○換気設備

※認証取得のための施設確認前に購入したものについては、対象になりませんのでご注意ください。

■ 申請受付期間 令和4年3月11日（金）まで ※当日消印有効

■ 書類の提出方法 最上総合支庁地域産業経済課（〒996-0002 新庄市金沢字大道上 2034）まで郵送してください。

ご不明な点がございましたら、お問い合わせください。

[地域産業経済課 29-1309]

## 新型コロナウイルス感染症対策に対する寄付者への感謝状贈呈

6月14日、新型コロナウイルス感染症対策に対する寄付をいただいた、川田建設株式会社様（鮭川村）に知事感謝状を贈呈しました。

あたたかい善意をお寄せいただきまして、ありがとうございました。

[防災安全室 29-1209]



発行日：令和3年8月10日

発行元：山形県最上総合支庁総務企画部総務課

総合案内窓口

電話：0233-29-1360 FAX：0233-23-2605



Twitter



HP





厳しい暑さが続いています



# 熱中症予防×新型コロナ感染防止で 「新しい生活様式」を健康に！

**注意**

## マスク着用により、熱中症のリスクが高まります

マスクをつけると皮膚からの熱が逃げにくくなったり、気づかないうちに脱水になるなど、体温調節がしづらくなってしまいます。

暑さを避け、水分を摂るなどの「熱中症予防」と、マスク、換気などの「新しい生活様式」を両立させましょう。

### 【熱中症を予防するためには】

- 1 高温や多湿といった場合は、熱中症のリスクが高くなるおそれがあるので、野外で人と十分な距離（2m以上）で離れているときは、マスクをはずすようにしましょう。
- 2 マスクを着用時は、激しい運動は避け、のどが渇いていなくてもこまめに水分補給しましょう。
- 3 気温、湿度が高いときは、特に注意しましょう。

※特に高齢者、子ども、障がい者の方々は熱中症になりやすいので、十分に注意しましょう。



### 【新型コロナの感染防止対策に関するお願い】

- ❖ 県内での新規感染者数は現在落ち着きつつありますが、新たな変異株や、人流の復活によるリバウンドの可能性など、まだまだ予断を許さない状況です。  
感染がひとたび地域に入り込めば、ご家族や同僚、友人へと急速に拡大するように、感染のリスクは身近なところにあります。
- ❖ 感染者が短期間で急増した場合、入院のための病床が不足するおそれがあります。
- ❖ 各市町村では、高齢者からワクチン接種が始まり、順次、若い世代にも進んでいます。  
このワクチンは、感染した場合の重症化を防ぎ、さらに地域でのまん延防止が期待されています。
- ❖ 住民のみなさんにワクチン接種がいきわたるまで、引き続き、熱中症に注意しつつ、基本的な感染防止対策の徹底をお願いします。

### 「新しい生活様式」とは…

新型コロナウイルス感染防止の3つの基本の

- ①身体的距離の確保
  - ②マスクの着用
  - ③手洗いの実施や3密（密集、密接、密閉）を避ける
- などを取り入れた日常生活のこと



### 山形県受診相談センター

☎ 0120-880006（フリーダイヤル 24時間）

### 山形県ワクチンコールセンター

☎ 0120-567690

（ダイヤル 8:30～18:00 土日祝含む）



[地域保健福祉課：29-1268]